

つなげよう！地域の力！

～ちょこっと、つどう憩いの『わ』

社会福祉法人六踏園 地域交流センターまんまる

地域支援コーディネーター 大川内綾



manmaru

まんまる

自己紹介

女子短大英文科を卒業後、大手企業に就職 OLとして6年勤務

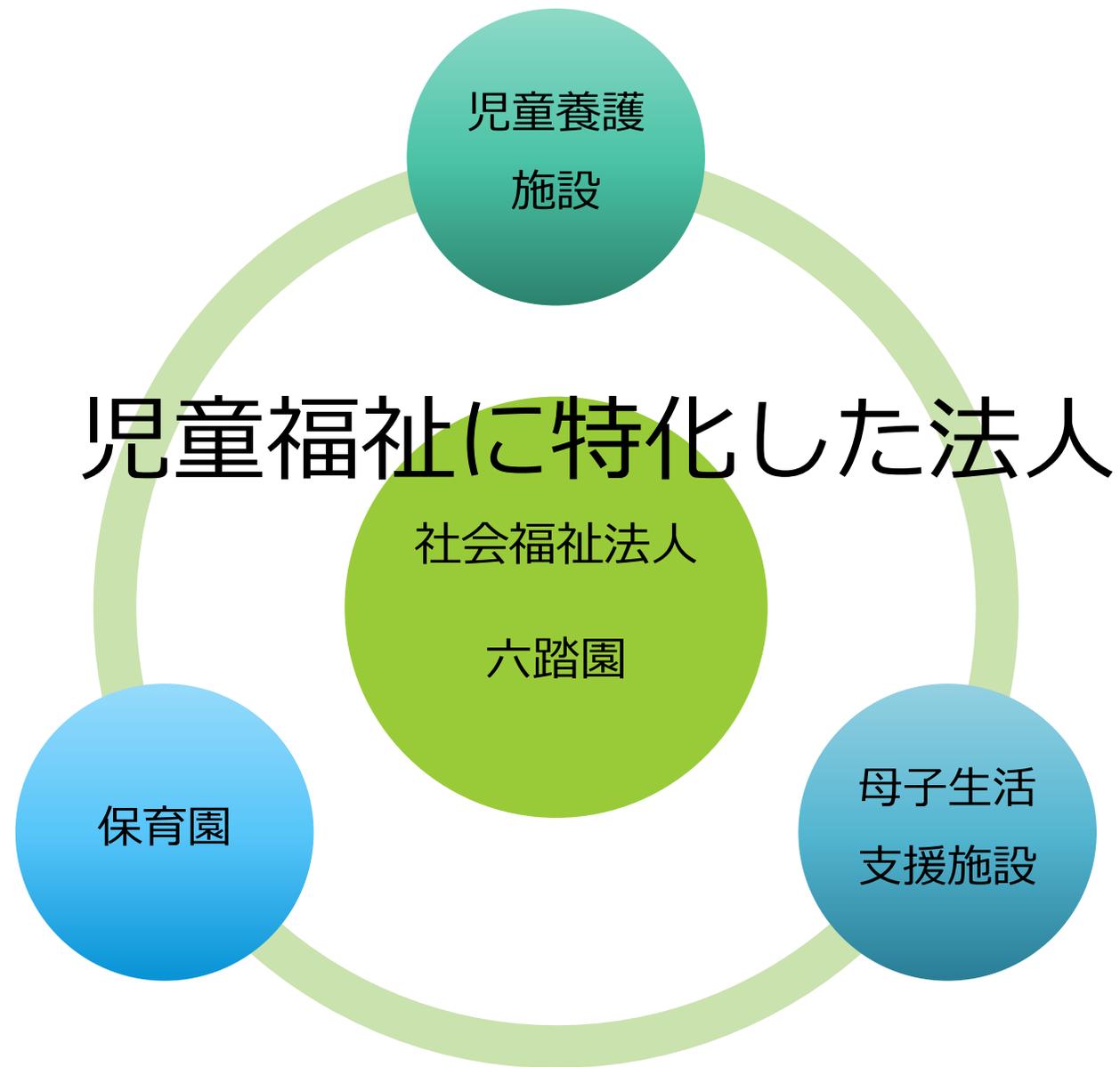
その後結婚出産を経て、主人と一緒に天然酵母パンと自然食品の店を開業

クリスチャンとして教会の日曜学校の奉仕をしている中、ひとりの男の子との出会いによって児童養護施設に導かれる。

<調布学園との出会い>

- 今から18年前、遊びボランティアとして調布学園と出会う
- フレンドホームとしても登録する
- 翌年保育士国家資格取得
- ショートステイ部署でアルバイト
- 非常勤職員として施設内保育担当や幼児寮の補助
- 常勤職員として、幼児寮・学童寮・幼児低学年型グループホーム・ショートステイ部署を担当
- 社会福祉士国家資格取得
- 2022年～地域支援コーディネーターとしてまんまるの運営管理を担当

法人概要



2025年（令和7年）創立100周年を迎える

地域における 課題の状況

不登校

ひきこも
り

ヤング
ケアラー

養育困難

多子世帯

里親ケア

孤育て

ひとり親

保護者
ケア

経済的
困窮

DV・虐待

精神疾患
発達障害

外国籍

高齢者

地域交流センター まんまる



2022年5月
運営開始

【まんまるの特徴】

日本財団子ども第三の居場所
コミュニティモデル拠点として

- 社会福祉法人六踏園が運営



- 専門職が常駐
(有資格者・福祉課題の解決が可能)



- 予防・早期発見・支援
- 社会福祉法人六踏園と地域をつなぐ場
- 関係機関とのつながり

予防福祉に力を入れる



つなげよう！地域のか！
～ちよこつと、つどう憩いの『わ』

まんまるの
コンセプト



居場所づくり



ひとり親家庭 アプローチ・ アウトリーチ

★秘密のキッズプラス

対象：ひとり親家庭

- 17：30 学童お迎え
- 18：00 夕食
- 18：30～お楽しみタイム
- 19：30～帰宅（自宅まで送迎）



キッズプラス利用：5世帯9人
お弁当配食：12世帯22食
利用料：無料

食事提供

保護者
サポート

見守り

送迎

小学校・中学校・
特別支援学級



民生委員



アドバイザー
大学の先生



児童養護施設・ショートステイ



母子生活支援施設



デザイナー



放課後等デイサービス



まんまるを拠点に
みんなで子育て
➔ 予防福祉の充実

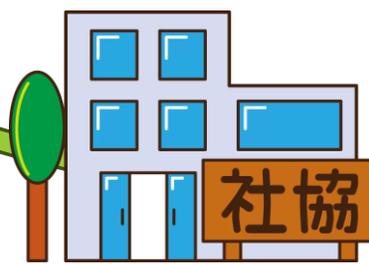
<要支援・虐待防止等
相談機関>



子ども家庭支援センター



スクールソーシャルワーカー



社会福祉協議会
市民活動センター



まんまるの 特徴・ 取組みの効果

- 学園の子ども地域の子も、障がいがあってもなくても誰でも集える場
- 子どもたちに多様な経験の保障
- 親子で、特にお父さんも集える場
- 大人も職員もリフレッシュできる場
- 地域の方が主体となって、やりたいことができる場
- 気軽に相談できる場
- 児童養護施設に対する地域の理解促進
- 人材確保
- 虐待予防

子ども支援だけにとどまらず、施設・法人・地域全体で支える関係づくり、予防福祉の実践に取り組んでいる。

広報・SNS

2022年5月
OPEN
多世代交流・多機能型施設

ボランティア募集中
キッズスペース
コーゼーも
だれでも
パラアフォー



manmaru
まんまる

つなげよう！地域の力！
～ちょこっと、つどう憩いの「わ」～

“ぶどうのように世界はみなまるい心でつながりあっていくのだよ”
みんなまるい優しい心でつながりあっていくことで、
世界中のみんなが平和になりますように、という想いを込めて、
また、地域の方や幸園生・通所者が気軽に集える場所になり、
みんながまるくつながって温かな心で過ごしてもらいたい！
という想いを込め、地域交流センター「まんまる」を作りました。

社会福祉法人六義園 調布学園・第二調布学園内 地域交流センター「まんまる」

090-5781-1501 (まんまる直線)
042-483-7611 (調布学園・第二調布学園直線)
E-mail: 6tounmanmaru@gmail.com

社会福祉法人六義園 調布学園・第二調布学園内 地域交流センター「まんまる」

新型コロナウイルス対策の高入換装機も23人までとさせていただきます。
ご協力の際、よろしくお願ひいたします。

まんまる Day
だれでも対象
どなたでもお越しください。
30分～1時間利用可能です。
月曜・水曜・土曜
午前9時～11時 / 午後2時～5時
※お申し込み・お申し込み不要です。

まんまる Kids
子どもたち対象
保護者の呼び寄せ。
お申し込みは必ずお願いいたします。
水曜・金曜
午後2時～4時45分

利用料
FREE
(無料)
時間貸しの場合
1回500円
お問合せは地域交流
コーディネーターまで。

設備
バリアフリー
床暖房
プロジェクター
キッズスペース
だれでもトイレ
(2019年7月27日竣工)

法人の事業として、日本財団「子ども未来の未来」
コロナウイルス対策も対応いたします。施設内は
来客にも、子どもたち・職員にも、優しい
おもてなしが受けられる環境をつくります。

「子ども未来の未来」
日本財団は2019年より、すべての子どもたちが将来の夢に向けて
生きていくことができる「子ども未来の未来」を全国に展開しています。
「子ども未来の未来」には、設備環境整備も含まれています。調布・幸園生・
第二調布の3施設、地域交流センターも含まれています。調布・幸園生・第二調布
の3施設は、「一人暮らしで孤立した地域子育てコミュニティ」のハブとし
て機能を提供しています。施設内には多世代交流センター、2022年度まで
定額500万円の建設費を計画中です。102244-0000
https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child-future-place

LINE 公式アカウント
友達募集中！
イベントや臨時休館をお知らせします




〒182-0033 東京都調布市土屋有3-18-1 https://chofu.gakuen.com

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@807dciyn
LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください




MANMARU2022

まんまる通信 2022.8月号

まんまるがオープンして3か月が経ちました。「まんまるって何してるの？」という聞かれた
心の声にお答えし、なるべく定期的にまんまるの活動を報告していきたいと思っております！

まんまる Kids(水・金) 対象:子どもたち
小学生中心の遊び場です。マスク着用、手洗いでね！
みんなが安心して過ごせるように、講習・協力・おもちゃを
乱暴に扱うのはやめてください。

毎月第3金曜日は「ポケモン折り紙道場」

▲1人ごとの秘密・環境学習
▲調布市在住プロの演劇家による
アクションコント 9月も開催予定

▲川んさんの素敵なフルートライブ
▲川んさんの素敵なフルートライブ

まんまるキッズプラス(水・金 17:30~20)
★非公開
ひとり親家庭のお子さん専用。学園の夕食を提供しています
(週1回)ひとり親家庭の二回夕食の提供をさせていただきます(期間
限定)
高3Hさんがお手伝いしてくれています！

▲中高生がまんまるの置き看板を作ってくれました！ありがとうございます！

利用者実績★
4月 学園子ども13 地域子ども1 大人1 計15名
5月 学園子ども116 地域子ども41 大人74 計231名
6月 学園子ども137 地域子ども113 大人142 計392名
7月 学園子ども108 地域子ども134 大人222 計464名
キッズプラス 2世帯4名
お弁当配達 7世帯14名

★今後のお知らせ★ イベントカレンダーに追加いたします。
・8月22日(月) デザイナーと一緒にまんまるづくり
・8月28日(日) お笑いクラブによるお笑いライブ
8/13(土)PM~8/21(日) まんまる休館です。

2月2回(水)子連れOKリフレッシュヨガも人気です

今後の 支援展開

- 安定した運営体制の確保
- 福祉課題（ひとり親家庭・保護者のケア・親子統合・里親・不登校支援等）への対応
- ショートステイ事業との協業
- 法人連携を深める
- 地域の方々が主体となれる取り組み
- 自立に向けた事業展開



さらに予防福祉の実践に取り組んでいく。

参考

取り組み効果 ★居場所づくり 編

アンケート回答より抜粋

【まんまるを利用して】

- ・大きく3点に分けられた。
 - ①子どもにとってのメリット（楽しめる、おもちゃがある等）
 - ②大人にとってのメリット(大人も楽しめる、ゆったり過ごせる、お父さんも利用できる等)
 - ③環境（清潔感がある、落ち着いている、和やか、スタッフに対する評価等）
- ・中にはほぼ毎日利用することができる点を挙げ、育休中に欲しかったという記述もあった。

【やってみたいこと】

- ・イベントに関する記述のほか、「入所している子どもたちとの交流」「施設退所者の集い」「就学前の子供と小学生の子どもと一緒に」過ごす等が挙げられた。

【まんまるとは】

- ・子どものみならず、「親子で楽しめる」「リフレッシュできる」「安心して過ごせる」等、大人にとってもプラスになっている記述が見られた。
- ・そのほか「第二の家のようなアットホームで子どもたちがいろいろな関りや経験をさせてもらえる素敵な場所」「外部の方が気軽にイベントを企画できるのもすごいこと」「人と交わられる落ち着く場所」「近所にある生きやすい場所」「これから子どもたちが大きくなってもこの存在に助けられるかなと思っています」「いろんな方との出会いの場所」「実家に頼れない状況、友人に話せないことも話せたり、家族にとってありがたい場所」という記述があった。

参考

取り組み効果

★ひとり親への
アプローチ編

アンケート回答より抜粋

【弁当配達を利用する理由】

- ・「経済的負担の軽減」「栄養バランスがよい」という理由のほか、回答者の60%が「配達するスタッフと会えるから」を挙げていた。
- ・回答者の40%が受け取る際に困りごとを相談したことがあると回答した。
- ・また、自由記述では「スタッフさんとは相談こそしないものの直接お会いできる安心感があります」という回答があった。

★考察

- ・弁当配達では、（スタッフは）支援者・被支援者という関係性ではなく、対等な立場・むしろ“保護者の応援団”という立場で関わっている。
- ・弁当配達を利用している理由について「配達するスタッフと会えるから」を過半数が挙げていた点や、「受け取る際に困りごとを相談したことがある」という回答が40%あった点から、一般的な弁当宅配との違いが浮き彫りになったと考えられる。

参考

取り組み効果

★ひとり親への
アプローチ編

アンケート回答より抜粋

★考察

- 子どものみならず親にとってもプラスの変化をもたらしていた。
- とりわけ親に関しては、家事や仕事等に取り組む時間ができたほか、精神的なゆとりをもたらしていた。
- 週に一度の実践であるが、子と親の変化から、家庭支援につながっていることが考えられる。
- 課題として、利用回数の増加（緊急時の利用を含む）が挙げられる。

- ありがとうございます

